

30th Anniversary



2017
No.314 5月号

News

全国整備工場の皆様へ
NGP組合員200拠点がお届けする
お役立ち情報

2017年5月19日発行
■発行責任者／佐藤幸雄 ■編集・制作／(株)プロトリオス
■発行／(株)NGP 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL03(5475)1200

定価／1部30円

日整連、平成28年度版「自動車整備白書」を発行

全作業項目で整備売上高が減少 人材不足への対応や仕事量の確保が課題に

日本自動車整備振興会連合会（日整連）はこのほど、「自動車整備白書」の平成28年度版（2016年度版）を発行しました。同書は、全自動車分解整備事業者を対象として2016年6月末日に実施した実態調査の結果をまとめたものです。

それによると、2016年度の総整備売上高は5兆3,994億円で、前年度から1,189億円の減少（2.2%減）となりました（グラフ）。その内訳を作業内容別に見ると、車検整備が2兆1,146億円（前年度比3.4%減）、定期点検整備が3,398億円（同0.6%減）、事故整備が1兆1,382億円（同1.7%減）、その他整備が1兆8,018億円（同1.3%減）と、いずれも減少しています。

同書は2016年6月末時点の調査結果から作成されているため、売上高は2015年度の経済・経営環境に依存しています。2015年度は企業及び家計の所得は増加しましたが、それが消費行動には結びつきませんでした。継続検査台数の増加など整備需要はありましたが、短時間車検・メンテナンスパックなどによる車検・点検費用の削減、軽微な事故修理の先送り（または中止）、緊急度の低い一般・臨時整備の先送り（または中止）などのユーザーの節約志向が、整備売上高の減少につながったと考えられます。

事業場数は前年度から99事業場減少し、92,061事業場となりました。業態別では専業が56,735事業場（同289事業場減）、兼業が15,476事業場（同266事業場増）、ディーラーが16,213事業場（同8事業場

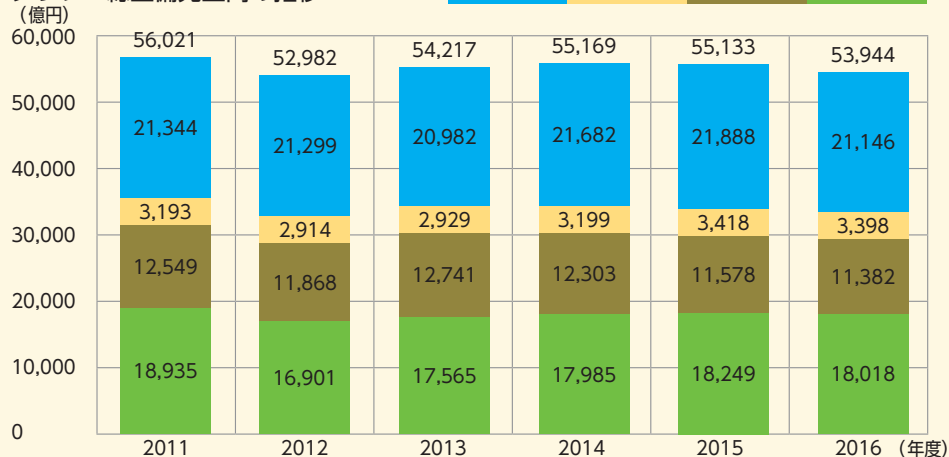
減）、自家が3,637事業場（同68事業場減）と、専業の減少傾向が顕著です。また、国土交通省が発表した「前職別新規認証取得状況及び原因別認証廃業・指定返納状況の推移」によると、2015年度における認証工場の廃業数は1,398件（前年度比168件増）で、原因別では工具不足（78件・同17件増）と後継者難（232件・同13件増）が近年増加傾向にあります。

整備工場における人員不足は年々厳しさを増しており、2016年度における整備士数は対前年度比5,344人の減少となる33万4,655人と5年連続で減少しています。国交省や業界団体では人材の確保及び育成に向けた検討や対策を進めていますが、国内全体の少子高齢化も影響し、急激な好転は難しい状況と言えます。整備・修理工場には、工程及び設備などの見直しも含めた人材不足への対応が求められそうです。

一方、生産性の指標となる整備要員1人当たりの年間整備売上高は全体平均で1,353万9千円となっており、いまだ東日本大震災前の水準（2011年度・1,405万4千円）に戻っていませんでした。生産性を向上させるためには、業務効率改善とともに将来的な保有台数の減少を見越した仕事量の確保も重要な課題となります。

近年、自動車が長期的に使用される傾向にあることは、1台当たりのメンテナンス及び入庫回数の増加につながる可能性を秘めています。しかし専業工場における1事業場当たりの年間平均入庫台数では、2年車検の210台に比べて、1年定期点検は30台と低水準に留まっています。まずは法定点検である12ヵ月点検を通じて定期点検の重要性を訴求し、顧客の安全を守りつつ、入庫台数及び整備売上高の向上につなげたいところです。

グラフ 総整備売上高の推移



NGP組合員探訪

【第3回】
北関東支部 (その1)

今回は全国 142 社 187 拠点の NGP 組合員の中から、北関東支部に所属する 4 社をご紹介します。

(有) 佐藤商事



NGP代表
佐藤 潤

当社は1987年10月にNGPグループへ入会いたしました。2005年2月には破砕業を取得し、より迅速な使用済自動車の適正処理を目指した取り組みを進めてまいりました。これからも「よりよい商品を、より正確に、より早く」をモットーに、高品質なリサイクルパーツの供給に努めていきます。

エンジン、トランスミッション、その他補機類部品は保証付きです。外装パーツは現車段階より傷、へこみを厳しくチェックしています。フロントでは親切、丁寧、迅速にお客様のニーズにお答えするフロントマンと、やさしい愛犬コマサがお待ちしております。お気軽にお越しください。

【所在地・お問い合わせ先】

新潟県村上市切田1042-2
TEL : 0254-62-2178 FAX : 0254-50-5000
<http://www.ngp.gr.jp/k301/>

(株) 栃木パーツ



NGP代表
三枝 透

創業は1974年、NGPグループへの入会は1989年です。栃木県を中心に活動する当社は、外部講師を招いた社内勉強会を年に数回開催するとともに、営業担当者によるお客様先への定期訪問を実施しており、整備・修理工場様に役立つ情報を提供できるように社員一丸となって取り組んでいます。また、地域社会への貢献を目指した年4回の道路清掃活動は、10年以上継続して参りました。

当社の特長はフットワークであると自負しています。廃車引き取りはもちろんのこと、部品の配達やクレーム対応もフロント、営業、引き取りが連携して動いております。お困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。

【所在地・お問い合わせ先】

栃木県佐野市高萩町399
TEL : 0283-23-3256 FAX : 0283-20-1021
<http://www.ngp.gr.jp/k302/>

(株) 共伸商会



NGP代表
佐藤 幸雄

1982年に創業、1990年12月にNGPグループへ入会いたしました。

2005年の自動車リサイクル法施行と同時に、使用済自動車を適正に処理するための大型工場を建設しました。また2016年には自動車破砕処理施設として、シュレッダープラント工場を建設しております。

使用済自動車処理における入庫・解体処理・破砕処理工程を一括管理することで、安全性・経済性ととも環境にも配慮してきました。リサイクル部品の活用によるCO₂削減及び循環性社会の構築を目指し、地球環境保護活動を通じて社会貢献することを目指して活動しております。

【所在地・お問い合わせ先】

新潟県新潟市北区樋ノ入1389-3
TEL : 025-386-1555 FAX : 025-384-1108
<http://www.ngp.gr.jp/k303/>

(有) 黒崎部品



NGP代表
大谷 貞人

1976年4月に黒崎解体として創業し、1991年2月にNGPグループへ加入しました。新潟県内全域にリユース部品を納品させていただいており、商圏は現在も拡大中です。

これまでにISO14001、9001、27001の認証を取得しており、お客様のニーズにお応えして参りました。

お客様あつての我が社であると常に意識して業務に臨んでおります。今後もNGPの信条である“よりよい商品をより正確により早く”を念頭に、全社一丸となって対応に努めさせていただきます。

【所在地・お問い合わせ先】

新潟県新潟市西区木場1634-1
TEL : 025-377-2410 FAX : 025-370-1114
<http://www.ngp.gr.jp/k304/>

【第4回】

時代の変化へいち早く対応する ためのマネジメント能力と 最新技術を学ぶ「中級研修会」

今回も前回、前々回に続き、1986年のNGPグループ創設当時より特に注力している「教育」をテーマとします。その中から、前回お話ししました第二の研修である「初級研修会」を修了し、初級研修会受講から1年以上経過した主任～課長クラスのNGP組合員社員に、さらなるステップとして受講が義務付けられている「中級研修会」についてお話しします。

中級研修会の研修内容は部門を問わず、収支の管理、部下の育成、業務効率改善といったマネジメント能力の習得が主体となります。これは、入社間もない一般社員が主に受講する基礎研修会や初級研修会では、彼らがNGPの理念やルールを体得し、各社での日々の業務において自ら実践できるようになることが主な狙いなのに対し、主に中堅～ベテラン社員が受講する中級研修会では、その習得・実践を大前提とし、それを部下に

教え続け定着させることに加え、日々変化する業況にいち早く対応し会社を成長させられるマネージャーを育成することを最大の目的としているからです。

生産管理者及びフロントマンに対してはさらに、実車を用いながらエンジンやエアコン、AT、ハイブリッドシステムの実機を分解し組み立てることを通じ、リユース部品を生産する際に不具合の有無とその原因を特定できるよう、各構成部品の構造と役割を学びます。これも、毎回同じ内容を繰り返すのではなく、自動車技術の進化・変化が早く、使用済車両の引取台数低下も続く昨今は特に、より幅広い車種から1点でも多くのNGPリサイクル部品を生産できるように、最新モデルの実車・実機を積極的に導入し、研修内容も常にアップデートし続けています。

このように、基礎研修会はNGPグループ30年の伝統を継

承する役割を持つのに対し、初級・中級研修会はそうした時代の変化にいち早く柔軟に対応し、新たな取り組みへ積極的に挑戦する土台を構築するという、次世代を担う人材を育成するうえで重要なもう一つの役割を担っています。

近年は自動車技術のみならず、社会の構造そのものが劇的な速度で変化しています。今期スローガン「『創』～挑戦と継承で新たな時代を～」を実現すべく、伝統を堅持するための基礎研修会、社会の変化へ柔軟に対応するための初級・中級研修会をこれからも開催し、NGPグループ全体を成長させ続けていきます。

(続く)



NGP組合員 かわら版

第45回初期指導研修会を開催

マーク・コーポレーションが システム賛助会員から正会員へ

マーク・コーポレーション（向井弘光社長・三重県鈴鹿市）がシステム賛助会員からNGP協同組合の正組合員となり、NGP部品の生産販売に取り組みます。4月12～13日、BumB（ぶんぶ）東京スポーツ文化館（東京都江東区）で実施した第45回初期指導研修会を受け、修了しました。

マーク・コーポレーションは、2004年に協同組合三重オートリサイクルセンターとして設立された当初より、自動車のリサイクル事業に取り組んでいる会社です。その後、2007年にNGP協同組合へ賛助会員として入会、2009年4月に株式会社マーク・コーポレーションへと組織変更を実施しました。

初期指導研修会ではNGP協同組合の沿革や理念、組織について説明や、売り上げ目標の立て方、NGPの業務につい

での講習を受けるとともに、同日開催の第29回基礎研修会と合同で挨拶や集団行動についての厳しい訓練に臨み、お客様へ気持ちを込めて対応することの大切さを改めて認識しました。

研修会に参加した松原佳代センター長は「NGPの理念を体で感じることができ、リユースパーツを買っていただくためには、品質及びお客様への誠実さが大切であると改めて理解できました。今後も教



えていただいたことに対する理解を深めるための努力を継続し、現場と一緒に頑張って売り上げや生産の効率化に役立てていきたいです」と、今後の決意を表明しています。

NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

平成29年3月：

3,140t



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

平成29年3月：

9.8t

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の50品目（左右ある部品を含む）64品目を対象に算出した数値です。

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP組合員 かわら版

第29回基礎研修会開催 NGPの根幹“合わせる” ことの意味と重要性を体得

NGP協同組合の第29回基礎研修会が、4月12～15日の4日間、BumB（ぶんぶ）東京スポーツ文化館（東京都江東区）で開催され、NGP組合員各社の新入社員を含む総勢56名が受講しました。

この研修会では、NGPグループの根幹をなす、自動車リサイクル部品オンライン流通ネットワークを維持するうえで必須となる統一品質、つまりNGP全組合員が品質を“合わせる”ことの意味と重要性を体得します。そのため受講生は、全員が気持ちと行動を“合わせる”ことを、全てにおいて求められます。

まず受付の時点で、講師から受講生の服装や言葉遣い、挨拶の仕方などが厳しく指導され、社会人として必要不可欠な礼儀作法を徹底的に叩き込まれます。その直後の開会式でも、起立・礼・着席のタイミングが合っておらず、声が小さければ何回でもやり直しとなります。

開会式に出席した小林信夫副理事長は「“根も葉もない”という言葉がありますが、基礎研修会はその“根”、NGPグループの精神や考え方、思想を身につけるものです。どんなに“葉”、スキルや知識が素晴らしくとも、“根”が腐っていれば

“葉”も支えられません。皆さんはここでまず“根”をしっかりと太くしたうえで“葉”を育てて下さい」と受講生を激励しました。

開会式後、受講生は5つの班に分かれ、挨拶・行進・ラジオ体操からなる団体訓練を受けます。ここでも、号令などのあらゆるかけ声を腹の底から会場全体に響くように出し、かつ移動速度やタイミング、整列位置を、各班の全員が完璧に“合わせる”ことが求められます。さらに夜からの暗記試験では、同じ班のメンバー全員の支部名・社名・氏名など、与えられた課題を一字一句間違えずに暗記しなければならないと。 “合わせる”ことができるまでは、決して終わることなく続けられます。

修了式に出席した佐藤幸雄理事長は、「この研修会の講師は全員NGP組合員で、自らの会社を犠牲にして皆さんを指導しています。また、皆さんの会社の社長は、皆さんが4日間現場を離れることで業務が滞ることをいとわず、皆さんをこの基礎研修会に送り出しています。そのことを決して忘れないで下さい」と受講生に対し自覚を強く促しました。



全員で“合わせる”挨拶の訓練に臨む受講生たち



開会式で受講生を激励する小林副理事長



修了式で受講生に自覚を促す佐藤理事長

修了式では、(有)しのぶや みどり工場の月井千尋さんが「自分のことだけを考えず、仲間、お客様に気持ちを合わせ、感謝の気持ちを忘れずに行動します」、(株)吉田商会の野村政広さんが「他の業務との連携を意識し、よりよい商品をより正確により早くお客様へお届けできるよう尽力します」と、帰社後の業務に向け決意表明しました。

研修終了後の感想として、(株)ナプロアースの齋藤昭彦さんは「『感謝』の気持ちと『信じる』気持ちがお互い一緒になった時、どんなに大変なことでも成し遂げていける、己の限界を超えて進んでいけることを実感しました」と、心を“合わせる”ことが大きな困難を乗り越えるのに必要不可欠であると感じ取っています。

日頃ご愛顧いただいております
整備・修理工場の皆様へ感謝の気持ちを込めて

「NGP30周年ありがとう キャンペーン」

4月1日～
6月30日まで開催中
皆様のご応募
お待ちしております



新規入会組合員紹介

支部	東海
会社名	株式会社 マーク・コーポレーション
代表者	代表取締役 向井弘光
住所	三重県鈴鹿市伊船町 字鈴木田531-1
電話番号	059-371-6330
FAX番号	059-371-6660
加入日	29年4月30日



センター長
松原佳代

このたび、NGPの賛助会員から正会員となりましたマーク・コーポレーションです。

当社は2005年に協同組合として設立し、2009年に株式会社へ組織変更を致しました。「ゆりかごからゆりかごへ」を理念に、創業から一貫して手バラシによる精緻な解体を行っています。

近隣に一級河川が流れる立地であるため、環境保全の施設を強化し、ISO14001の認証も取得致しました。また、年間3,000名以上の工場見学を受け入れており、主に小学生に向けた課外授業を行い、社会貢献に努めております。

NGPに正会員として加入し、今まで以上にお客様や地域の方々の要望に応えられる会社となるべく、社員一丸となって邁進致します。

組合員情報変更

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
南関東	株式会社コーエイ	会社代表	代表取締役 高山栄二	29年4月1日

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<http://www.ngp.gr.jp/>

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
<http://www.ngp.co.jp/>